

# 十勝岳

## 1 概況（平成 14 年 6 月）

今期間は静穏に経過しました。1997 年以降時々微動が発生し、62-2 火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

## 2 噴煙活動の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いており、噴煙高度は概ね火口上 100～300m で推移しました。風が弱い時には一時的に 1000m の高さに達することもありました。

## 3 火口・地熱地帯の状況

6 月 18～20 日に調査観測を実施しました。62-2 火口では高温の状態が続いているほか、62-1 火口の一部で地熱域の広がりが見られました。

### 【62-2 火口】

火口内には多数の活発な噴気孔があり、ジェット音を伴って透明～白色の火山ガスを勢いよく噴出していますが、全体的に噴煙量が多く詳細な観測はできませんでした。北西内壁の噴気孔は引き続き灰色に焼けた状態で周辺には硫黄が付着しており、赤外放射温度計\*により火口縁（距離約 40m）から測定した最高温度は 415℃（昨年 9 月は 452℃）と、高温を維持していました。今回、最高温度が昨年よりやや低下したのは、噴煙の影響によるものと思われます。

### 【62-1 火口】

東壁には鮮黄色の硫黄昇華物が付着しており、一面から弱い噴気があがっていました。地中温度は沸点以下でしたが、赤外熱映像装置\*\*による観測では、一部で地熱域の広がりが見られました（表面温度分布図参照）。

### 【62 火口周辺の地熱域】

62-0 火口、62-3 火口、前十勝北側斜面、振子沢噴気孔群などで弱い噴気活動と地熱活動が続いています。62-0 火口、振子沢噴気孔群などでは硫黄昇華物によるはっきりした変色域が見られましたが、地中温度や噴気温度はいずれも沸点以下で、地熱域の広がり等に変化はありませんでした。

### 【大正火口】

東側火口壁上部にはやや活発な噴気孔があり、周辺には硫黄昇華物が付着しています。道立地質研究所の観測によると、噴気温度の最高は 191℃（昨年 9 月は 194℃）でした。

### 【旧噴火口】

いたるところで弱い噴気活動が続いており、湯釜では黒灰色の湯が湧出しています。噴気温度はいずれも沸点以下で、地熱域の広がりにも変化はありませんでした。

#### \* 赤外放射温度計

物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する計器。熱源から離れた所から温度を測定できるが、値は測定条件や距離によって変わり、実際の温度とは必ずしも一致しない。

#### \*\* 赤外熱映像装置

赤外放射温度計と同様の原理で温度を面的に捉える遠隔測定装置。火山では地熱分布等を把握するために利用される。値は測定条件や距離によって変わり、実際の温度とは必ずしも一致しない。

## 4 地震活動の状況

火山性微動は観測されませんでした。小さな微動は今年になって 1 月 4 日、3 月 7 日、5 月 7 日に発生しました。

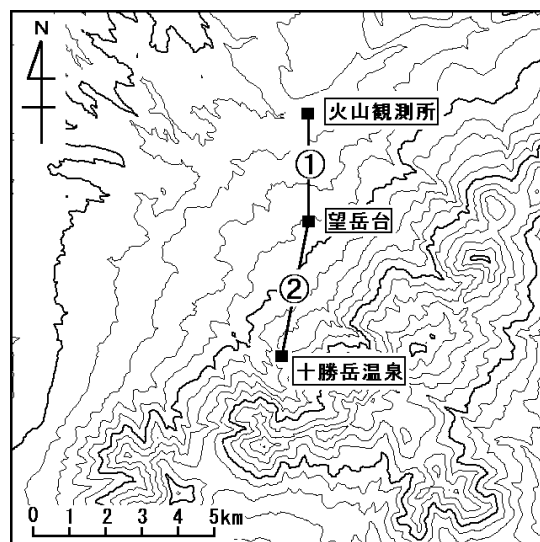
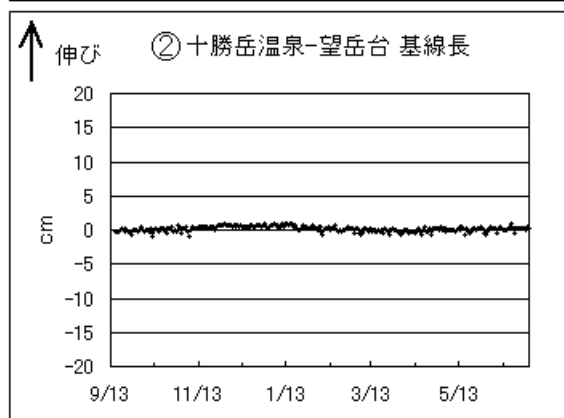
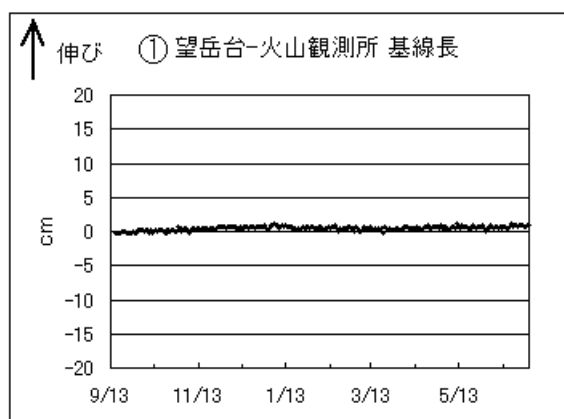
地震回数は 1 日あたり 0～2 回と平常のレベルで推移しました。

月別地震・微動回数（H点）

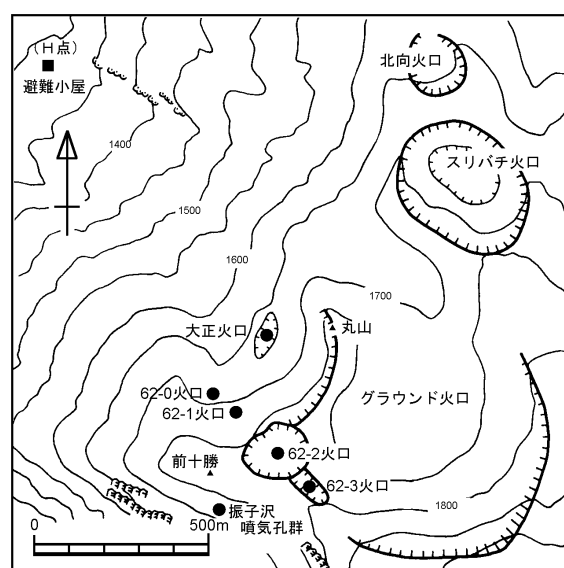
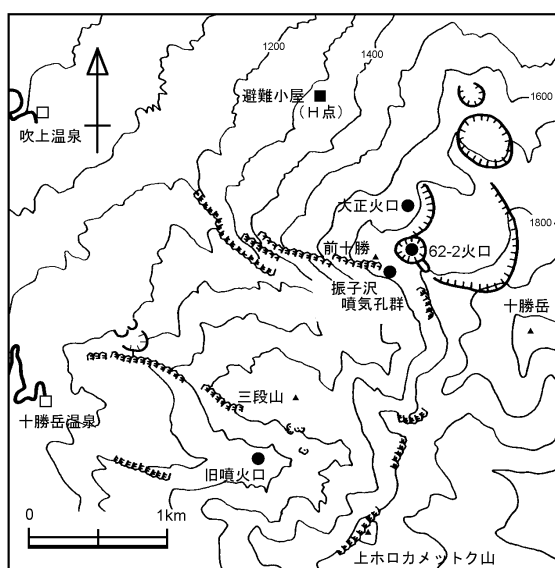
| 平成 13～14 年 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 |
|------------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地震回数       | 31  | 24  | 102 | 83   | 35   | 30   | 43  | 42  | 34  | 30  | 28  | 14  |
| 微動回数       | 0   | 0   | 0   | 0    | 0    | 0    | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   |

5 地殻変動の状況

G P S 観測では、火山活動に起因すると考えられる特別な変化はありませんでした。



十勝岳基線長グラフ（2001 年 9 月 13 日～  
2002 年 6 月 30 日）



十勝岳火口周辺図



測定距離：約200～300メートル

標準レンズ使用

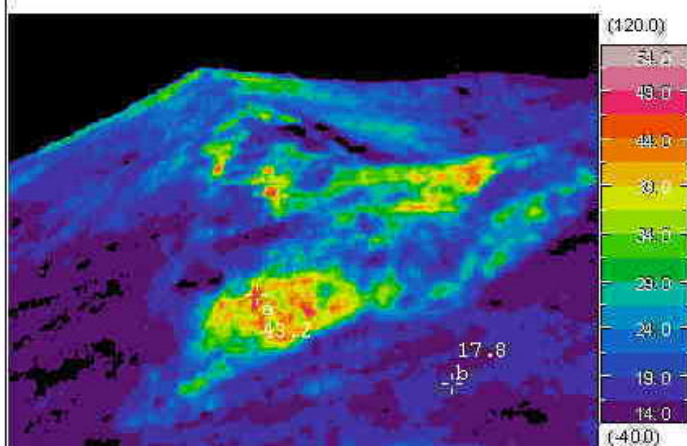
RG:1.8; 0:90; SC: NRx2

02/06/18

12:39:02

撮影日時  
2002年6月18日  
12時39分

天気：曇  
気温：15℃



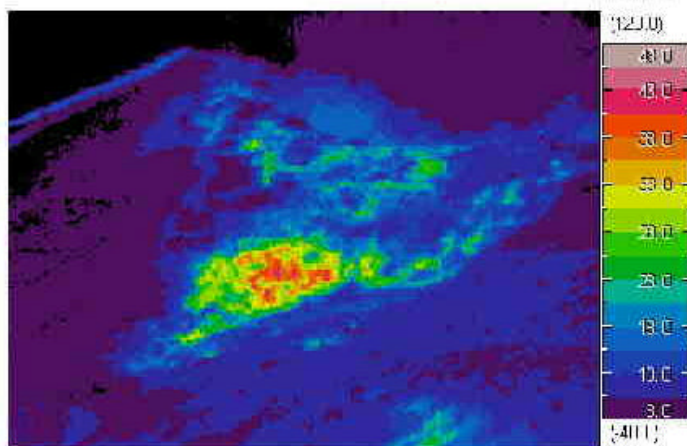
RG:1.8; 0:90; SC: NORM

01/06/25

13:31:16

撮影日時  
2001年6月25日  
13時30分

天気：曇  
気温：14℃



#### 62-1 火口表面温度の比較

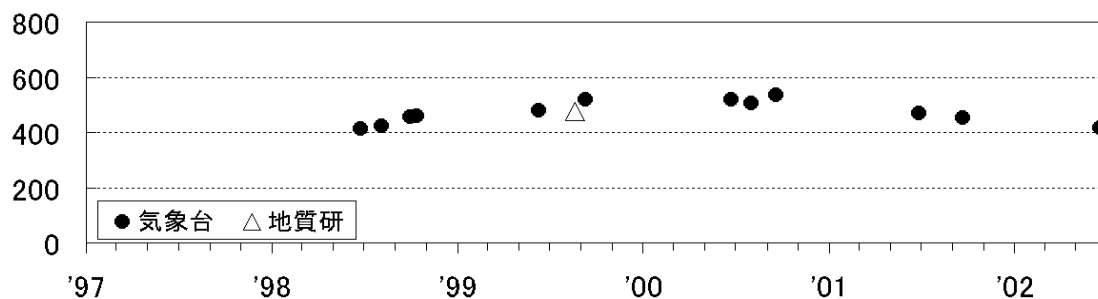
上段：前十勝北側稜線から撮影した 62-1 火口の写真（2002 年 6 月 18 日）

中段：同地点から観測した温度分布（2002 年 6 月 18 日）

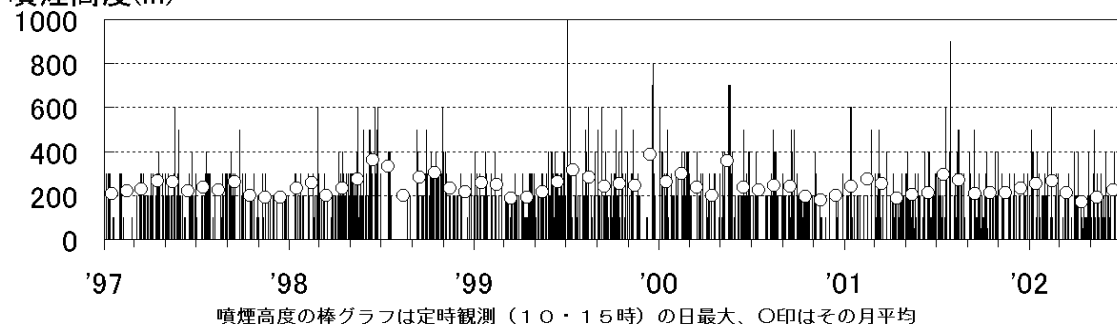
下段： // （2001 年 6 月 25 日）

昨年の温度分布と比較して、今年は黄色から赤の高温域がはっきりしている

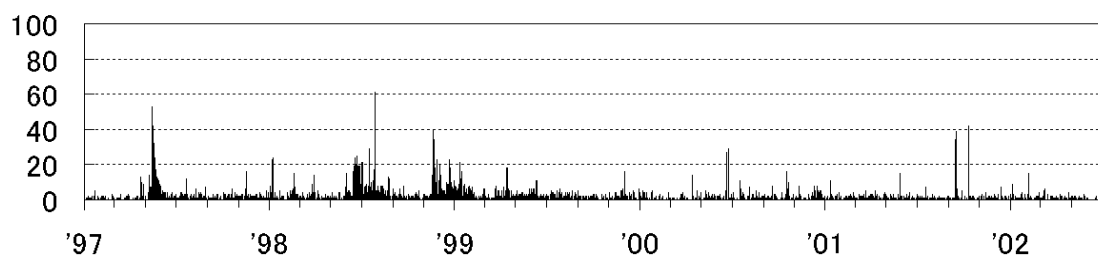
温度(℃) 十勝岳62-2火口温度(赤外放射温度計による)



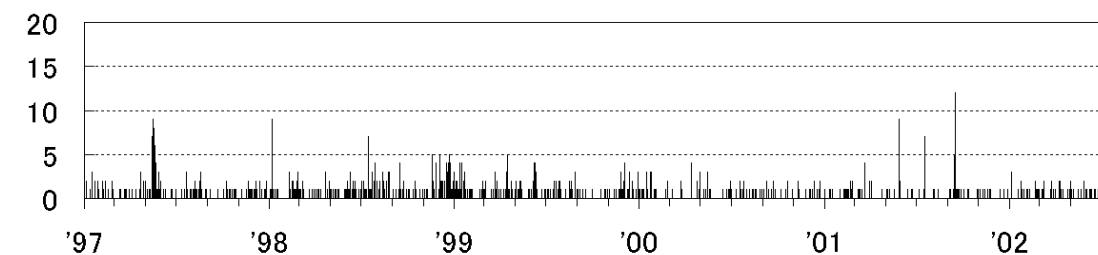
噴煙高度(m) 十勝岳62-2火口噴煙高度



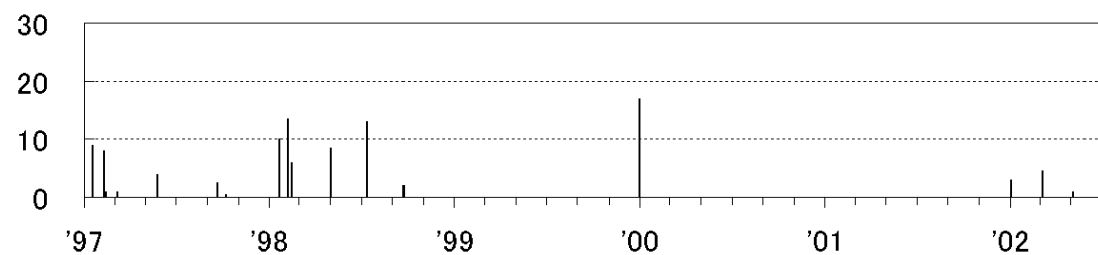
日別回数 十勝岳日別地震回数(H点:62-2火口から約1.2km)



日別回数 十勝岳日別地震回数(A点:62-2火口から約4.5km)



継続時間(分) 十勝岳日別微動継続時間(H点)



十勝岳火山活動経過図（1997年1月1日～2002年6月30日）